

気仙沼の施設にピクトグラムや英語を取り入れ 外国人観光客のリピーターを増やせるか

気仙沼高校 5602B班

I. 序論

現状：気仙沼に来る外国人観光客が約1%

目的：気仙沼のこの現状を、SNSを使って外国人観光客を増やす

背景：外国人に気仙沼を知られていないことが、気仙沼に外国人観光客が来ないことと関係している

仮説：施設にピクトグラムや英語を取り入れることで、外国人観光客のリピーターを増やせるのではないかと

III. 結論

外国人に気仙沼が知られていないことと、気仙沼に外国人観光客が少ないことが関係していることは、市役所の方の話を聞いて分かった。
そこで、これからは今まで以上に外国人に気仙沼のことを知ってもらえるような活動をしていく必要があると思う。

IV. 課題

YouTubeに外国人向けの動画を作成し、投稿するところまでやりたかったが、間に合わなかった。

II. 方法

1, 受け入れ環境の整備

現在の気仙沼では新しく建てられた施設に英語やピクトグラムが取り入れられている所は多く、将来的には必要不可欠になってくると考えられ、共生社会を目指している。

《現在気仙沼が行っていること》

- 1, WEB (visit Kesenuma)
- 2, パンフレット
(英語・繁体字・タイ語・インドネシア語・中国語・韓国語)

2, プロモーション

現在の気仙沼は海外での知名度が低く、気仙沼を知らない外国人が多い。

そのため外国人観光客のターゲットを日本との距離が近く日本と親密な関係を持つ台湾に絞る。

なぜ??

台湾では一年遅れで、NHKの朝ドラが放送される。
一年後には台湾の人に気仙沼を知ってもらえる大チャンス！ これを生かす。

3, 交通

現在の気仙沼は、道路などの環境が定期的に整備されているが、外国人のお客さんが来るとなると、なかなか大変である。

仙台or花巻空港から気仙沼に来るには、レンタカー、バス、電車などの手段が必要となり、バスや電車は外国人には分かりにくく、使いにくい。



↑ visit Kesenuma
(visit-kesenuma.com)



パンフレット(英語) ↑
(miyagi-ebooks.jp)

以上のことから、この3つが解決すれば、外国人観光客が興味を持ってくれるのではないかと考えた

ご協力いただいた方

- ①気仙沼市役所産業部観光課
Kさん
- ②宮城大学
K教授